

油山から市街に連なる緑地帯を背景に、その恵まれた環境を活かした新しい葬祭場である。故人との別れを愛しみ、想いをめぐらせる場として、清潔で気品を感じさせる清楚なイメージを追求し、建築の内と外を流れる水、自然光、樹木等によって、四季折々の自然と呼吸し、時が刻まれる空間をつくりだしている。建築周辺の既存樹を最大限残し、旧葬祭場の外壁材を擁壁に再利用するなど、環境に配慮するとともに、地形を巧みに活かし、憩いの場として多くの市民に受け入れられるランドスケープをつくりだしている。

(審査委員 坂井 猛)



Fukuoka City Crematorium (Toki no Mori)
福岡市葬祭場 (刻の森)
南区松原6丁目1番1号
用途: 葬祭場 完成年月: 2005 (平成17) 年9月
所有者: 福岡市
設計者: (株) 日総建 九州事務所
施工者: 浅沼・上村・照栄・隔測・東洋・ダイダン・空研共同企業体



Kuromongawa-dori
黒門川通り
中央区唐人町1・3丁目
用途: 道路・緑道 完成年月: 1988 (昭和63) 年
所有者: 福岡市
設計者: 脳造園総合設計 (現 (株) 環ヴィートム)
施工者: 安藤造園土木 (株) / (株) 九州緑化産業



黒門川通りは、決して良好な水辺とはいえなかった以前の黒門川が暗渠化されて建設された道路である。都市内の河川が暗渠化されることの是非について議論があるところではあるが、現在では、大濠公園と博多湾をつなぐ街のネットワークの一角を担う重要な街路となっている。大濠公園北側の昭和通りとよかトピア通りとを接続する道路の歩道に、新たな水の流れと緑が導入され、沿道の建物や当仁小学校の外壁と相まって、人々が水の流れを楽しみながら安心して歩くことができる街路景観が形成されている。また、親水性が配慮された水辺や各種の石像等の配置により、水辺のある街路の心地よさを人々に体験してもらう貴重な機会を提供しているといえる。

(審査委員 包清 博之)



特別表彰 ● Special Commendation Review

これはアーティスト日比野克彦が種を蒔いたプロジェクトであり、全国でも10余の都市で展開されている。それ故、オリジナリティという点で、疑問符を投げかける向きもあるだろう。しかしながら、朝顔そのものは素材であり、その生育環境や運営に関わる組織やひとびとの独自性には、地域性が包括的に映し出されることに注目したい。その点では食の文化に通じるものもあると考えられる。とりわけ福岡の場合には、都心環境のプロジェクトとして展開し根づいてきていることに特徴がある。それは、都市緑化や夏の風物詩という観点を超えて、都心景観の形成も、ひとびとが育む行為としてあることを示唆しているのであろう。

(審査委員 森岡 侑士)



Asatte Asagao Project 2007 Fukuoka
明後日朝顔プロジェクト2007福岡
主催: 明後日朝顔プロジェクト2007福岡



Naka Station, Hakata Volunteer Fire Corps
博多消防団那珂分団車庫
博多区竹下5丁目452-1
用途: 消防分団車庫 完成年月: 2005 (平成17) 年1月
所有者: 福岡市
設計者: (株) シーエー・タップ
施工者: (株) 野田工務店



消防団やその車庫といえば、何かしら人々の間では固定したイメージが出来上がってしまっていたと思われるが、この作品は見事にそのイメージを覆してしまった。敷地の位置する地形も小高く、また角地であることもあつて、ランドマーク性が高くなる条件に恵まれていたともいえるが、建築的な処理で、それが活かされるか否かは別問題であろう。規模は小さくても、コンクリートによるシンプルな構成、また色彩やグラフィックの工夫による存在の主張も明快でランドマーク性を高めている。角地の見通しの確保などにも、細かな神経が行き届き、公的建築の地域性、ひいては地域活動としての消防団の意義を自ずと示して見事である。

(審査委員 森岡 侑士)

地面のうねりに身を任せて平たく伸びる建築が、どこにもない景観を作り出す。「ぐりんぐりん」は、博多湾に浮かぶ人工島、アイランドシティの中核施設であり、人工の地面に横たわる、人間の頭脳と感性が作り出した人工物だ。すべてが人工的であるはずにもかかわらず、この建築はあたかも生命を持つもののように環境を一体化している。アイランドシティは言わば白いキャンパスだ。ここに海と大地と人の営みが有機的に展開するこなれた風景が出現には時間が必要だろう。「ぐりんぐりん」は、新しいキャンパスに描かれた最初のモノであり、ここを中心に様々なモノやコトが描かれていくはずだ。確固たる存在感を示しながらもそびえ立つシンボルではなく、これから生まれるあらゆるモノを融合する媒介としての可能性を感じる。

(審査委員 山下 三平)



Island City Central Park "Grin-Grin"
アイランドシティ中央公園「ぐりんぐりん」
東区香椎照葉4丁目26番7号
用途: 体験学習施設 完成年月: 2005 (平成17) 年5月
所有者: 福岡市
設計者: (株) 伊東豊雄建築設計事務所/
佐々木睦朗構造計画研究所/総総合設計研究所
施工者: 竹中・高松建設工事共同企業体/中村・横溝建設工事共同企業体

